

一般質問



会派正式名称

【自由民主党】鳥取県議会自由民主党
 【会派民主】会派民主
 【公明党】公明党鳥取県議会議員団

9月定例会では、20人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。議事録の全文は、県議会ホームページからご覧いただけます。
 ※掲載に時間がかかる場合があります。

鳥取県議会議事録

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。



坂野 経三郎
議員

選挙区 鳥取市
会派 会派民主



電力高騰から家計守る 成人年齢の引き下げ

問 電力高騰から家計を守るためには太陽光、節電や安い電気を買う等ある。住宅への太陽光の設置を拡充しては。
答 PPA(※)の鳥取型導入を事業者と研究しており、住宅による自家発電を応援する。
問 民法改正により、今年4月から成人年齢が18歳に引き下げられた。高校3年生が、親の同意なくクレジットカードやローン契約をすることができる。子どもたちの未来のため、悪い借金は絶対ダメということを教えてほしい。
答 (教育長) 賢い消費者になる、金融教育を進めていく。



島谷 龍司
議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党



中小事業者支援施策の さらなる展開について

問 新型コロナの流行拡大、急激な原材料、エネルギーの高騰などで事業継続が困難になっている。地域にとって必要とされている中小事業者へのきめ細かい対応が地域社会の維持の観点からも必要だが。
答 全く同感。このような状況に対して、様々な需要があるため、今までとスキームの異なる、事業の実相に沿う形で広く適用できる助成制度として、新型コロナ・円安・物価高騰対策支援補助金を今議会に提出した。事業者のみ皆さんの頑張りを支えていこうと思う。



福田 俊史
議員

選挙区 八頭郡
会派 自由民主党



県産梨のブランド化と 後継者育成について

問 現在、都市圏の高級果物店では本県産の梨が過去最高の値段で店頭並び、一層のブランド化が進んでいる。その一方で後継者育成等につながっていない課題もある。この現状と対応について知事の所見を伺う。
答 近年、梨の値段が上がり、新規参入しやすい条件が整いつつある。地元関係者ともよく相談しながら、オーダーメイド型での支援を考えたい。当初予算に向けて、さまざまなアイデアを起用しながら、就農応援スキームをさらに展開してまいりたい。

(※) 用語解説は7ページに掲載しています。

 **西川 憲雄**
議員

選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

原子力発電の活用、起業者間のネットワーク

問 ①電力の安定供給と価格の低減のために原子力発電を活用すべきであり、県民に安心を持っていただくべきでは②今以上に異業種交流や新しく起業した人たちのネットワーク作り、情報提供に取り組むべきでは。

答 ①国において責任をもって対応すべきであり、必要に応じて物申していく②昨年度からプロジェクトをスタートしており、実績も生まれてきた。新年度に向け、起業者同士で交流できる仕組みを考えたい。

 **由田 隆**
議員

選挙区 倉吉市
会派 無所属

鳥取県の管理河川の整備計画と現状について

問 倉吉の国府川上流では、令和元年の東日本台風を教訓に対策を検討し水防対策検討会を設置して水防対策を進めている。台風シーズン前でも一部河川内の樹木伐採・河床掘削に手が付けられておらず、害獣被害の報告もあり、県に対応を求める。

答 この河川の点検については定期的に行い科学的に判断して対策をとってきている。服部地区を点検した結果、やはり樹木伐採等が必要と判断。それについては令和5年度事業で計画させていただいている。

 **澤 紀男**
議員

選挙区 米子市
会派 公明党

再犯防止の推進について

問 ①鳥取県再犯防止推進計画の具体的な取組として高齢者や障がい者以外の一般的な刑務所出所者が地域生活への円滑な移行や生活相談ができるよう地域ネットで支える新たな相談機関の設置が必要と考えるが知事に伺う②更生保護給産会では孤立しがちな出所者へのフードバンク事業を行っている。知事の所見を伺う。

答 ①どのような受け皿でやっていけるのか関係機関とも協議していきたい②フードバンク事業など状況を聞き支援について考える。

 **市谷 知子**
議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

国葬、旧統一協会(※)、産廃、県産業振興機構

問 ①安倍元総理の国葬。法的根拠なく県費での知事参加は不適正。返還を②統一協会常設相談窓口を。統一協会関与の自民党県議から県行政が歪められてないか③淀江産廃計画地地下水位や福井水源地地層再調査求める声の反映を④鳥取県産業振興機構のパワハラ加害役職員の謝罪と解任。

答 ①公の行事、適正な執行。大きな仕事をした人②相談ネットワークの中で適切に対応。行政の歪みは承知せず。対処を申合せた③これ以上調査の必要ない④調査すべきは調査し、今後とも指導したい。

 **内田 隆嗣**
議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

肥料高騰対策と白ネギ産地西日本一を目指す

問 肥料価格高騰について、どのように対処し、農業の持続可能性を担保するつもりか、知事の御所見を伺う。

答 鳥取県でも今議会にネギの生産農家も含めた肥料高支援、補正予算を入れている。

問 白ネギ産地として西日本一、日本一の産地を目指すべきだと考えます。そのための新たな施策が必要では？

答 関係者の意見を聞き、使い勝手がよくて、農家の営農意欲、規模拡大など生産向上意欲が湧くような、そういう制度改善を新年度に向けて考えてみたい。

 **尾崎 薫**
議員

選挙区 鳥取市
会派 会派民主

医療的ケア児・者に係る課題について

問 医療的ケア児・者の移動は課題。モデル的にカーシェアリングをやってみては。

答 話を聞き応援していく。

問 災害時避難は大きな課題。当事者・保護者、支援者が一緒に災害対応ノートを記入する防災カフェをしてみても。また避難訓練を広めてほしい。

答 協力頂き実現したい。医療的ケア児避難訓練を日吉津でやった。横展開する。

問 避難時に必要な抱っこひも、てこの原理を利用した車いすに付ける補助具を市町村に紹介して欲しい。

答 紹介し使用促進を図る。


 **浜田 妙子**
議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

淀江産廃処分場と百塚88号墳の共存を

問 産廃最終処分場と百塚88号墳は淀江町小波に共にある。この度地下水調査が終わり産廃工事が進めば古墳はなくなる。今、人々の歩みを実感的に学べる場が必要な時代。特に子どもたちに1500年前の遺跡と最先端の産廃施設両方を見て歴史と未来が学べる場として、この地を活用できないか。

答 共存というのは可能だと思う。一つの大きなテーマ性のある地域として関心を寄せ支えて、将来に向かって淀江の地から地球全体を良くして行くことができるよう、検討を進めたい。

 **川部 洋**
議員

選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

電力の安定供給に関する県の役割について

問 県が脱炭素に向けて推進している地域新電力による再エネ発電の普及が電力供給の不安定化を招く懸念がある。電力の安定供給という視点で県の脱炭素の戦略を組み直す必要がありはしないか？

答 再エネ発電を中国電力や新電力とパートナーシップを組みながら危機を乗り越える体制に持っていかだと思ふ。電気の問題がまちづくりの1つになり始めていて、県内でもそうした動きが生まれている。それを全県的に共有し、各方面で協力し合うことを方向性として考えたい。

 **銀杏 泰利**
議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

**①子供のワクチン接種
②デフリンピック開催**

問 ①データを使って広報を②開催が手話言語法制定に向け絶好の機会に④選手派遣の支援とキャンプ誘致を。

答 ①11歳以下の陽性者の8割がワクチン未接種と広報した②の法制化の動きは国の中枢に届き始め、情報アクセスの法制定の附帯決議に入った。もう一步のところまで来た。制定に向けて働きかけをしていく④オリパラに対する支援事業をデフリンピックに広げる。平等に扱うべきで、事業を今後改める。開催支援、キャンプ受け入れを目指すことを誓う。

 **浜田 一哉**
議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

保育支援と県職員の採用試験について

問 ①これからの時期、待機児童が心配。人材確保や子育て支援等、市町村とさらに連携すべきでは？②コロナにより登園回避を要請した際、きめ細やかな対応が必要では？③高等特別支援学校からの応募も考慮し、身体、精神、知的障がい者と並べて、知的障がいを持つ精神障がい者に対しての試験枠を追加しては？

答 ①市町村と各施設と意見交換する②園の判断で行動できるように市町村とも話し合う③人事委員会と、どのような見直し等が出来るか再検討する。

 **野坂 道明**
議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

**①観光誘客の課題
②児童相談所の課題**

問 ①大阪・関西万博を契機に今後のインバウンドの復活には中国5県で連携した広域周遊の取組の加速が必要では②児童相談所が子どもと家庭を取り巻く包括的な支援センターとなるよう位置づけるなど抜本的な体制の見直しが必要では。

答 ①インバウンド再開に向けて中国5県、鳥取県としても取組をスタートし、受け入れの準備を本格化させていきたい②難しい案件を適正かつ早期に対処できる体制など根本の改革の進め方を新年度に向けて議論・検討していく。

 **濱辺 義孝**
議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

障がいのある人の情報アクセス向上推進を！

問 障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が、本年5月議員立法で成立、施行された。国、地方自治体の責務が明確になり、同法に基づく取組を進めなければならないが、知事、教育長に問う。

答 当初予算でモデル事業を始めるなど、県は先取りしている。今後とも責務を果たして行きたい。(教育長) 法律の施行に伴い文科省より通知があった。従来を取組を再点検し、子どもたちにとって大切な情報を有意に伝えるよう取り組んで行きたい。


福浜 隆宏 議員 

選挙区 鳥取市
会派 無所属

**①水資源を守るために
②県外生の受け入れ**

問 ①国の森林環境税の配分は森林面積5：林業者数2：人口3だが、5：2：2に見直し、残る1を水源涵養や地下水量調査に充当できるよう国要望を②県外生受け入れには学校と市町村を結ぶプラットフォームが不可欠。高校3年間、県外生が青春時代を過ごすことは地方創生、関係人口の芽になるとの視点で、国から寮整備の財源確保を。

答 ①働きかけをさらに強める②組織化も踏まえフォーラムを検討したい。寮整備は提案次第で国応援が得られるかも。交流人口増のチャンス。

興治 英夫 議員 

選挙区 倉吉市
会派 会派民主

**①下水道汚泥等の肥料化
②デジタル人材育成**

問 ①肥料の高騰・不足に対応すべく、下水道汚泥やバイオマス発電所の燃焼灰の肥料化について、研究・検討してはどうか②県内企業のデジタル化、デジタル人材の育成が必要。どのように進めるか。

答 ①最新の知見、関係者からの聞き取り、工夫などにより、安価で安心なものができるなら、県として応援し実用化できると思う②エンジニアの育成や、求職者・在職者向けのリモート研修を始めた。政府の政策をフォローし、県独自対策も含めて、新年度予算等で重点化を図る。

山川 智帆 議員 

選挙区 米子市
会派 無所属

**家計負担どう減らす？
蓄電等の再エネ施策**

問 物価高の一番は、光熱費いわゆる電気代だ。給付金の支給をするよりも家計や企業にとって再エネ関連の促す補助金や減税で需要を喚起しては。環境モデル都市としては。太陽光と蓄電セットの共同購入や既存制度の拡充をする事が家計に安く、地域内でエネルギー循環ができるのでは。

答 本県としても目指すエネルギー政策、エコライフスタイルの実現と軌を一にしている。今日の意見を参考に専門家や市町村と調整し、できる限り実効性ある対策になるよう行動をして参りたい。

用語解説

3 ページ


- **エシカル消費**
環境、人や社会、地域にやさしい商品やサービスを選ぶ“思いやり”のある消費行動
- **GI**
品質等の基準を満たす産地・産品の名称（地理的表示）を知的財産として登録し保護する制度

4 ページ

- **PPA**
企業や個人が保有する施設の屋根や遊休地に無償で太陽光発電設備を設置し、電気を供給する仕組み

5 ページ

- **統一協会**
一般には「統一教会」と表記


斉木 正一 議員 

選挙区 米子市
会派 自由民主党

**将来の鳥取県を担う
子や孫たちのために**

問 ①淀江産廃処理施設の早期設置を望む声を踏まえて今後の方針は②飼料用米への転換促進で農家経営安定化を③四期にわたり知事自身が目指す地方創生は実現できたか。

答 ①地下水調査の精細な科学的知見を受けて安全・安心を第一にやっていく②当面飼料用米の重要性が高まる中で順調な生産継続を支える予算を検討したい③自立と連携を重点に小規模県の機動力を生かし取り組んできた。全国をリードする端緒として持続可能な地域づくりの新時代の扉を開けるまではできたのでは。

森 雅幹 議員 

選挙区 米子市
会派 会派民主

**下水汚泥、バイオマス
焼却灰での肥料づくり**

問 肥料原料が海外から入手困難の中、県内で自給しなければいけない。そのために下水道汚泥、バイオマス発電の焼却灰を使って肥料づくりに取り組んでいただきたい。

答 J A、肥料製造者、原料提供事業者等一緒になって、プロジェクト的に肥料づくりを進めていきたい。実証実験などを含め、重点的な課題として向かってまいりたい。

問 有機農業に関する農業試験場の予算、人員増が必要だ。

答 有機農業に取り組む農業者を支援する人材や研究の体制を作らねばならないと思う。